

スポーツの魅力は、健康づくりや汗を流す楽しみ、人同士の触れ合い

「スポーツをしていない方や不得意な方にも、スポーツの楽しさを味わってほしいですね。私にとってスポーツの魅力は、健康づくりや汗を流す楽しみ、人同士の触れ合いです」と話す武田光廣さん。武田さんは、昭和55年から登別市体育指導委員を務め、子どもから高齢者まで誰もが楽しめるスポーツの普及を進めています。

体育指導委員は、スポーツの振興を図ることを目的に全国の市町村に設置され、登別市では、市民ラジオ体操会や市民スポーツ・健康フェスティバル、軽スポーツ指導者派遣事業などで体育指導委員がその指導に当たっています。

「軽スポーツ指導者派遣事業では、小・中学校や家庭教育学級、PTAなどのレクリエーションで、スポンジテニス、フロアカーリング、キンボールといった軽スポーツの講師として競技の指導をしています。参加者の皆さんは、最初は競技に戸惑っていますが、慣れてくると面白くなってくるんですね。終わった後、またこの競技をやりたいとの声を掛けていただきうれしくなりますね」と、武田さんは活動の様子を話します。



▲フロアカーリングを指導する武田さん(右)

体を動かす大切さを広めることや、仲間づくりのお手伝いをしたい

近年、子どもの基礎体力の低下が課題となる一方、中高年の方を中心に健康志向が高まりを見せるなど、市民のスポーツへの関心は低いわけではありません。

「場所や用具がない、一緒にスポーツをする仲間がいないなどの理由でスポーツをしたくてもできない方も多いと思います。私たち体育指導委員がもっと地域に向かい、体を動かすことの大切さを広め、仲間づくりのお手伝いができたらと思います。将来は、年1回でも『軽スポーツフェスティバル』と銘打つ催しを開き、軽スポーツの普及につなげたいですね」と笑顔で話す武田さん。

誰もがスポーツに親しめる環境づくりを意欲を燃やしています。



KIRARI

たけだみつひろ
武田光廣さん(新川町)

登別市体育指導委員会委員長を務める武田光廣さんが、地域のスポーツ振興に功績のあった体育指導委員に贈られる『平成22年度体育指導委員功労者表彰(文部科学大臣表彰)』を受賞しました。

約30年にわたり、体育指導委員としてスポーツの普及や団体の育成に力を注いできた武田さんに、スポーツへの思いを聞きました。

多くの方にスポーツの楽しさを味わってほしい



▲市長に受賞を報告する武田さん(右)



昭和10年、山形県山形市生まれ。75歳。

山形大学教育学部卒業後、宗谷地方や胆振地方の小学校で教壇に立つ。現在、新川第二町内会副会長や老人クラブ『ふれあいクラブ』役員も務める。